

(総務委員会)

観光による地域の活性化を目指して、国、県、市および関係団体などとの連携を図り、下記について実施したい。

1. 協会事業全体に対する総合的な企画及び調整。
2. 国、県、市及び関係団体の事業への参加を通じて下呂温泉の情報発信と収集。
3. 広域観光の推進を目指して周辺地域、関係機関との連携。
4. 濃飛横断自動車道及び道路や地域の基盤整備促進についての諸活動。
5. リニアエクスプレス中央新幹線「東濃駅」からのアクセス整備の活動。
6. 「M I C E」(Meeting、Incentive、Convention、Event/Exhibition)による誘客促進。
7. 下呂温泉のランドマークとなる外湯施設などの建設推進。
8. 飛騨・美濃じまんキャンペーン、ウェルネスツーリズムなどとの連携。
9. インバウンド推進を図る岐阜県の空港整備やアクセス充実のための諸活動。
10. 温泉を活かした健康保養地づくりの促進。南飛騨健康道場などとの連携強化。
11. 下呂交流会館「アクティブ」の活用。
12. 「下呂駅開業 80 年」、高山本線強化促進のための諸活動。
13. 下呂市並びに下呂商工会、下呂温泉旅館組合等関係団体との連携の強化。
14. 県及び近隣観光協会及び商工会、市内観光協会連絡協議会など関係団体との連携。
15. 日本三名泉有馬・草津や韓国儒城との交流、情報交換。
16. 下呂温泉まつりの共催。
17. 市、市議会および行政機関、教育機関との意見交換会などの開催
18. 芸妓芸能の育成
19. 防犯活動の推進
20. 観光関係功労者、優良従業員の表彰
21. 公益法人組織の移行についての検討
22. 会費、負担金の検討
23. 下呂市観光協会連絡協議会の事業
24. 下呂温泉観光協会だよりの発行

(誘致宣伝委員会)

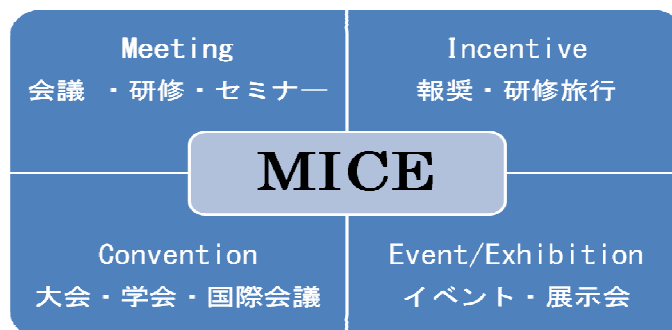
宿泊客の増加を図る為に、企業等の会議 (Meeting) や、報奨・研修旅行 (Incentive Travel)、各種団体等が行う国際会議 (Convention)、スポーツ大会などのイベント (Event/Exhibition) などのビジネスイベントの誘致を実施したい。その為には、各種広告媒体を限りある予算の中で、効果的に宣伝展開をし、大都市圏での観光PRやパンフレットの設置及び配布なども実施したい。また、旅行商品の造成を図る為に情報発信や誘致会議など旅行業者との連携も再構築すべきである。

特に昨年度から具体的な動きとして体験ツアーなど着地型旅行商品の開発にも強化するなかで、関係団体との連携を深め、「G-ランチ&G-グルメ」、「G-スイーツ」などを活用し街歩きから滞在時間の延長と連泊へとつなげられる事業も展開して行きたい。

また、インバウンド事業として引き続き下呂市台湾連絡事務所の有効活用から台湾からの誘客を図る。また、昨年度実施した韓国ドラマのロケに伴い韓国へのプロモーションや上海万博を契機に中国からの観光客誘致に積極的に展開したい。

さらに有形的な観光PRと併せ、下呂市が宣言した「ホスピタリティー都市宣言」に呼応した事業も展開してゆく。

1. インターネットによる情報発信事業
2. 宣伝用印刷物・販促物の作成とマスメディアに対する広告出稿
3. JR東海はじめ旅行業者との連携
4. 大都市圏での観光展及び誘致会議の開催
5. 下呂市、下呂商工会、下呂温泉旅館協同組合などとの連携
6. 下呂駅開業80周年に伴う事業展開
7. ドライブ旅行の誘致対策
8. インバウンド事業の強化促進
9. MICE(マイス)による観光客誘致の促進
10. 下呂温泉ふるさと観光大使に掛かる事業
11. 着地型旅行商品の積極的な取り組み



企業等の会議 (Meeting)、企業等が行う報奨・研修旅行 (インセンティブ旅行) (Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議 (Convention)、イベント、展示会・見本市 (Event/Exhibition) の頭文字をとった造語である。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

(まちづくり委員会)

新しい時代の温泉地として、街並整備・名所作りは重要な要素の一つです。行政・区・各種団体等の連携を図り下記の事業を実施し、温泉地としての「魅力あるまちづくり」について推進して行きたい。

1. まちづくりへの提言（中心市街地活性化事業）
2. 飛騨川クリーン大作戦の実施
3. 花木の植栽と定期的な管理
4. 里山の紅葉樹作戦と名所作りの推進
5. 飛騨街道の再生事業への協力

(交流研修委員会)

国際交流事業として、韓国儒城温泉(儒城区)への表敬訪問もしくは当地への招請などを実施したい。研修事業としては、下呂市の「ホスピタリティ都市宣言」を受けて、おもてなし向上の講習会や外国人観光客の誘致に併せ、外国語のセミナーなども実施したい。

また、例年実施の車上セミナーは、皆様方のご参加が永年の積み重ねにより、J R 東海による商品造成や主要駅でのポスター掲示など観光客の誘致にも繋がっているものと考えます。本年度も高山線強化促進という重要な目的も併せ持つ「車上セミナー」を実施したい。

1. 協会の研修及び高山本線強化促進を目的に車上セミナーを開催する
2. おもてなし講習会の開催
3. 韓国儒城温泉との国際交流事業の実施

(おもてなし委員会)

当地を訪れる方々への感謝と旅の思い出づくりのお手伝いとして、温泉街にて下記の事業を実施したい。また、商工会、各種団体との連携を図りイベントに協力をお願いしたい。

J R 東海主催の「さわやかウォーキング」への協力。

1. 下呂温泉いでゆ夜市の企画、運営
(7月17日・24日・8月 7日・14日・21日 開催)
2. 歌塚供養祭・歌塚歌謡祭の企画、運営
(8月 7日 開催予定)
3. キャンドルイルミネーションの実施
(12月24日 開催予定)
4. ウォーキング大会等、各種アウトドアイベントへの参加協力
5. 温泉街(市内)における各種イベントの実施

(青年部)

－事業方針－

昨年の世界的な金融危機は、日本にも円高による雇用喪失、社会保障問題など政治、経済、生活環境は、非常に厳しい状況にあると言われていています。

このような状況のなか、私たち青年部は時代認識を持ち、みんなで協力していくことでどんな難局も乗り越えていけると思います。青年部間の情報交換、情報収集を通して個々の経営力アップ、そして下呂温泉の発展に、次代を担う責任世代として目的を持ち事業展開していきましょう。

自らが源泉になるような、参加、協力をお願いいたします。

－事業計画－

1. (社) 下呂温泉観光協会の諸事業への協力
2. 下呂温泉への誘客キャラバンの実施 (下呂温泉旅館協同組合青年部との協力事業)
3. 温泉と健康に関する調査研究
4. 下呂温泉の街並み整備に関する調査研究
 - ・ 花木の植栽や消毒、施肥
5. 「TOG会議」等、諸団体との連携
 - ・ 「花火ミュージカル冬公演」への参画
6. 「130万人誘致客対策」について新たな観光資源の発掘・研究・提案
7. 部員拡大

※「TOG会議」

下記の5つの青年団体が集まり、様々な観点と立場から街作りを考え行動している団体です。

(社) 下呂青年会議所、下呂商工会青年部、下呂温泉旅館協同組合青年部

(社) 飛驒法人会下呂支部青年部会、(社) 下呂温泉観光協会青年部